

令和4年度青森県スマート農業推進セミナー開催要領

1 目的

県では、農業の労働力不足が進行する中で、農業の生産性向上と省力化を図るため、ロボットやI o Tなどの先端技術を活用したスマート農業推進に取り組んでいる。
この一環として、本セミナーを開催し、スマート農業による産地化の取組やスマート農業技術・機械の開発・実証の状況について理解を深めるものである。

2 日時

令和5年2月14日（火） 15：00～16：40

3 場所

青森県総合社会教育センター 大研修室（青森市大字荒川字藤戸119-7）

4 内容

（1）講演（15：00～16：00）

「地域資源を活用したサステナブルな植物工場の展開」（仮）

講師：株式会社寅福 代表取締役 加藤夢人 氏

＜株式会社寅福の概要＞

- 2014年の創立以降、北海道上ノ国町でトマト・アスパラガスの栽培に取り組んでおり、2019年には栽培面積2.5haの太陽光利用型トマト植物工場を建設している。
- 複合環境制御装置を使用したオランダ式の栽培管理により50t/10aを超える単収を実現しているほか、温泉熱利用による化石燃料使用量の削減やボイラーが排出するCO₂を植物の光合成に活用する等、環境にやさしい持続的な農業に取り組んでいる。
- 現在、むつ市においても、栽培面積3ha規模のトマト植物工場の建設を計画している。



北海道上ノ国町の植物工場

（2）青森型スマート農業技術・機械の開発の経過報告（16：10～16：40）

ア「トヨタのカイゼン手法によるりんごの生産性向上に向けた取組」

トヨタ自動車株式会社 アグリバイオ事業部 担当者

（リモートによる報告を予定）

イ「施設園芸における本県に適した自動かん水・施肥システムの開発に向けたデータ分析の取組 ～夏秋トマト篤農家のかん水技術のデータ化～」

地方独立行政法人青森県産業技術センター

農林総合研究所 花き・園芸部 研究管理員 齋藤 雅人 氏

5 参集範囲

農業者、農業関係団体、市町村、地域県民局地域農林水産部、県関係課等

6 出席申込

別紙「出席申込書」により、令和5年2月7日（火）までに、FAX又はメールで申し込んでください。

7 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- (1) 開催方法の変更又は中止の可能性があることを御了承ください。
- (2) 発熱、咳、喉の痛みなどの症状がある方は、出席を御遠慮ください。
- (3) 出席される方は、マスク着用の上、主催者が準備する検温及び手指の消毒に御協力ください。

13:00～14:45 同会場において、
「地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所研究成果発表会」
が開催されます。

【問合せ先】

青森県農林水産部農林水産政策課 産業技術高度化推進グループ

TEL 017-734-9474 FAX 017-734-8133、メールアドレス: nosui@pref.aomori.lg.jp